

令和6年度事業計画

公益社団法人 日の出町シルバー人材センター

当センターは昭和57年10月に日の出町高齢者事業団として設立され、昭和59年に社団法人化、平成2年に社団法人 日の出町シルバー人材センターに名称変更、平成23年に現在の「公益社団法人 日の出町シルバー人材センター」に移行し、現在までの間、多くの会員の皆様の就業や社会奉仕活動、町の産業まつりへの出店などを通じて、地域社会に貢献する取り組みを続けており、令和4年10月には節目の40周年を迎え、昨年6月に設立40周年記念誌『年輪』を発行いたしました。

我が国は、平成20年に総人口1億2,808万人のピークを迎えた後、人口減少社会に転じており、団塊の世代の方々が全て75歳以上となる令和7年には、75歳以上の方が全人口の約18%になると推計され、当町では令和6年1月末の75歳以上の方が全人口の23%に達しています。このような少子高齢化の進展の中、人口減少に伴う社会保障経費の増加や雇用関係の変化による年金の支給開始年齢の引き上げ、令和3年4月1日改正の「高年齢者雇用安定法」による65歳までの継続雇用制度、70歳までの就業機会確保の努力義務化等は高齢者を取り巻く環境に大きく影響し、全国のシルバー人材センターの会員数が令和2年度末に19年ぶりに70万人を割り込むなど、人手不足の地域では地域の企業・自治体・家庭からの仕事依頼を請け負うことが出来ない事例が発生しております。

当センターでも企業等の定年延長により新規入会者が伸び悩み、平成21年度をピークに会員の減少傾向が続いており、会員の高齢化と共に喫緊の課題となっておりますが、就業人員不足と適正就業確保のために、公立学校関係業務の一部と公園等の除草作業の受託を、本年3月末で終了しております。

また、令和2年からの新型コロナウイルス感染症対策に伴う社会経済活動の低下は、官公庁・事業所・家庭等からの受託件数が減少するなど大きな痛手となり、更に令和4年2月からのウクライナ危機に起因した多方面に渡る物価上昇など、当センターでは厳しい状況が続いておりましたが、昨年5月に新型コロナウイルスが感染症法上の5類へ移行されたのを契機に、引き続き安定した就業機会を確保し会員拡大に努めるとともに、システムを活用したデジタル化を推進し、人生100年時代の「誰もが生涯現役で活躍できる社会」を目指して、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、全会員が一体となり、地域社会のニーズに充分に応えるセンター実現のため、以下の基本方針を掲げ、積極的に取り組んで参ります。

— 基本方針 —

- 1 シルバー人材センターに適した就業機会の確保と提供
- 2 研修を通じた会員の資質向上
- 3 社会奉仕活動等を通じた生きがいの充実及び社会参加の推進
- 4 センター事業を推進していくための事業運営体制強化
- 5 会員の安全就業の徹底と安全対策の推進
- 6 会員の確保

I 事業計画

1 就業機会の確保と提供

官公庁、各種事業所、一般家庭等に協力を得るとともに、センター事業の理解を求め、積極的に就業機会の開拓に努める。また、就業提供者（ユーザー）の理解と会員の協力を得てローテーション就業の推進を図る。

目標値

年間就業延日人員	23,000人
就業実人員	233人
年間就業率	81%
新規事業開拓	1件

2 会員の資質向上

センターや各種団体が主催する研修会及び講習会に参加し、知識及び技能の習得を目指す。また、新規入会者に対し、センターの基礎知識を学ぶ「新規会員向け研修」を実施する。

研修計画

研修内容	実施回数	対象
知識習得研修	随時	全会員
技能習得研修	随時	全会員
安全就業等の研修会	3回	全会員、安全管理委員
新規会員向け研修	12回	新規入会者

目標値

財団実施の技能習得への受講	2名
新規会員向け研修参加率	100%

3 社会奉仕活動等の充実

ボランティア活動を通して、地域社会に貢献するとともに、会員の生きがいの充実やセンターの認知度と評価を高めていく。

実施計画

実施項目	実施時期
町民グラウンド草取り	10月
都道沿い清掃	3月

目標値

町民グラウンド草取り参加者	30名以上
都道沿い清掃参加者	30名以上

4 事業運営の体制強化

理事会を中心とした事業運営の体制強化を図る

会議の開催

会議名称	開催
総会	年1回(6月)
理事会	年12回(定例会)
三役会議	年12回
三役委員長会議	年6回
総務委員会	年12回
広報委員会	年12回
事業委員会	年12回
安全管理委員会	年12回

事務局体制の強化

- ・人事評価制度を活用した職員の資質向上
- ・事務の効率化と経費削減の徹底
- ・各種研修の受講による能力開発

5 安全就業対策

安全管理委員会を中心に、研修と啓発による安全意識の向上を図り、事故防止に努め事故ゼロを目指す。

実施計画

実施項目	実施時期
安全就業強化月間を設定し、安全対策の推進に努める	7月
安全意識向上のための資料作成及び配布	7月
特定検診の受診案内	7月
会員の交通事故防止のための交通安全講習会実施	2月
刈払機取扱講習会の実施	3月

目標値

刈払機による飛び石事故	0件
会員の自転車事故	0件
就業中の転倒事故	0件

6 会員確保

センターを安定的に運営していくには会員確保は不可欠であり、町内行事への参加や自主事業を通じ、センター事業の普及啓発活動と会員拡大に努めるとともに、既存の会員に満足いただくサービスを実施し、退会抑制を図る。

実施計画

実施項目	実施内容	実施時期
産業まつりへの参加	会員手づくり品の販売を通じ、センターの魅力を発信する	11月
年末感謝まつりの開催	イベント(手づくり品の販売・包丁研ぎ等)を通じ、センターに対する日頃のご愛顧を感謝し、センターの活動をより多くの町民の皆様にご覧いただく	12月
広報用パンフレットの制作、配布	会員の諸活動を紹介するパンフレットを作成、町内施設等で配布する	3月

会報「シルバーニュースひので」の発行	会報を発行し、会員へ対しセンター事業の周知を図る	7月 1月
SMS を活用した情報発信	会員に対し就業案内、各種情報を配信	随時
ホームページを活用した情報発信	豊富な情報をよりスピーディーに、センターの魅力を発信していく	随時
会員からの就業相談	会員からの就業に関する相談窓口を開設する	年4回
入会説明会	入会希望者に対し説明会を実施する	随時

目標値

新規入会者	20名
退会者	15名